

笹川記念保健協力財団 地域啓発活動助成

(西暦) 2018 年 2 月 15 日

公益財団法人 笹川記念保健協力財団
会長 喜多悦子殿

2017 年度地域啓発活動助成

活 動 報 告 書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

記

活動課題

がん及び非がん患者に対するアドバンスケアプランニングについて学ぶ

活動団体名： 独立行政法人 労働者健康安全機構
北海道中央労災病院

活動者（助成申請者）名： 是廣 由美子

I. 活動の目的

南空知という地域で唯一がん診療連携指定病院としての役割を担って行く上で、意思決定支援に関する知識の向上を目指して「がん及び非がん患者に対する意思決定支援を学ぶ」をテーマに医療やケアにまつわる意思決定支援を担う医療及び介護支援職への学習及び情報提供の機会を持つ。

II. 活動の内容・実施経過

外部講師を招聘による緩和ケア地域公開講座の開催

開催日 平成29年9月3日(日)

開催時間 9:30~12:00 (会場9:00 閉場12:30)

開催場所 北海道中央労災病院 2階講堂

開催内容 1. 緩和ケア地域公開講座 講演会

「もしもの時に備え、人生の終わりについて話し合いを始める

～がん及び非がん患者に対する意思決定支援とアドバンス・ケア・プランニング～」

講師 木澤 義之 (神戸大学医学部附属病院 特命教授)

2. 緩和ケア地域公開講座におけるシンポジウム

「アドバンス・ケア・プランニングと意思決定支援の実際について」

シンポジスト 竹田 泰子 (北海道大学病院 がん性疼痛看護認定看護師)

田代 卓良 (札幌訪問看護ステーション季の風 所長)

齋藤 道啓 (岩見沢市介護支援専門員連絡協議会 会長)

工藤 理 (医療法人溪仁会 定山溪病院 作業療法士)

3. 癌及び緩和ケアに関する情報コーナーの設置 (公開講座前後での閲覧)

1) 当院のがんサロンの紹介

2) 癌に関する書籍 (7冊) 及び冊子 (10種類)、治療中の食事の工夫リーフレット (5種類) の紹介 (書籍は展示、冊子及びリーフレットは持ち帰り可)

4. 講演終了後にアンケート記入し出口で回収する。

実施の経過 開催に至るまで企画・運営会議を行い、会場内のレイアウトや座長・講師・シンポジスト等との連絡や打ち合わせを念入りにおこなった。

講師やシンポジストの方々の許可を得て、シンポジウムと講演の内容についてビデオ撮影で記録した。

講演終了後、アンケートを実施し、後日集計結果を施設内に報告した。

III. 活動の成果

地域公開講座の参加者は113名、アンケートの回収は102名で回収率は90.3%であった。

講演内容とシンポジウムに対する設問は6択で公開講座に対する満足度が90%以上と非常に高かった。

講座に対する意見として「色々な立場からの話が聞けたので良かったと思う」「ACPについて理解できました」「エンドオブライフを含め、今後の医療、患者・家族への支援方法を具体的に学ぶ事が出来て良かった」等良かった点や良かったという感想など多く寄せられた。詳細データは別添 (資料参照)。

地域公開講座においてシンポジウムにおけるディスカッションや基調講演は参加した地域の医療・介護職がACPの取り組みについて多方面から学び情報を得る良い機会となった。

医療及び介護職員が ACP について学ぶ事により、患者の意思決定を支える方法がわかり、意思決定が難しくなる前の段階で本人の価値観や医師を確認し、治療の目標や内容について話し合っていく事の必要性を認識出来た事は大きな成果であったと考える。

IV. 今後の課題

今回は、医療及び介護支援職が対象の講座であったが、地域住民を対象とした ACP に関する啓発活動の必要性が認識された。

患者は、自分自身の病状は理解しているつもりであっても受け止められない・受け止めたくない・考えたくないという患者や家族への意思決定支援のあり方について議論を深める必要があると考える。

ACP の主役となる地域住民に向け、どのような手段で ACP の概念を紹介する事が満足いく人生を送ることに繋がるのか考えて研修会等の企画・運営していきたい。

地域公開講座 アンケート結果

回収数 102名/113名
回収率 90.3%

1. 職種について

医師	看護師	薬剤師	臨床検査技師	放射線技師	作業・理学療法士	栄養士	介護福祉士	看護助手	ヘルパー
3	50	4	0	0	6	1	6	0	0
介護支援専門医	事務職員	その他							
14	4	14							

2. 所属について

医療機関	訪問看護ステーション	介護福祉施設	教育機関	自治体	その他
60	4	15	2	3	18

3. 所属地域について

岩見沢市	岩見沢市以外
65	37

4. 本講座を知ったきっかけについて（複数回答）

所属施設でのポスター・チラシ	当院のホームページ	知人から	その他	無回答
67	0	16	20	2

5. 本講座への参加動機について（複数回答）

自己研鑽	テーマへの関心	シンポジウムへの関心	特別講演への関心	その他
68	62	21	30	1

6. 本講座について

	非常に そう思う	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない	無回答
1) 本講座は満足できるものでしたか	53	45	4	0	0	0
2) 本講座のテーマであるACPと意思決定支援は理解できましたか	39	55	8	0	0	0
3) ACP及び意思決定支援の方法や時期について理解できましたか	31	56	15	0	0	0
4) シンポジウムの内容は日常業務に役立ちますか	30	53	17	1	0	1
5) 特別講演の内容は日常業務に役立ちますか	46	46	9	0	0	1
6) 講演方法（講演・スライド・資料）は適切でしたか	35	55	9	1	0	2
7) 講演時間は適切でしたか	40	46	12	3	0	1

地域公開講座 アンケート集計結果

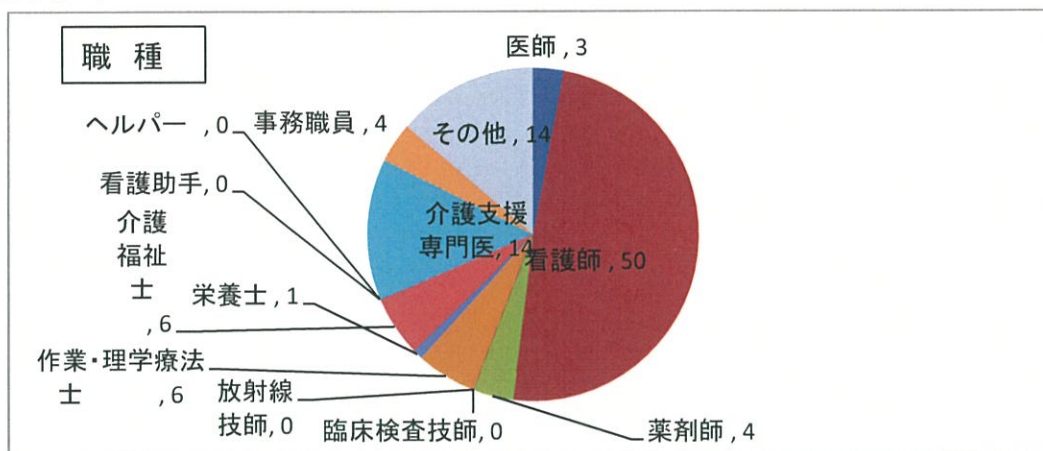
シンポジウムテーマ：アドバンス・ケア・プランニング

特別講演：もしもの時に備え、人生の終わりについて話し合いを始める
～がん及び非がん患者に対する意思決定支援とアドバンス・ケア・プランニング

開催日時：平成29年9月3日(日) 9:30～12:00

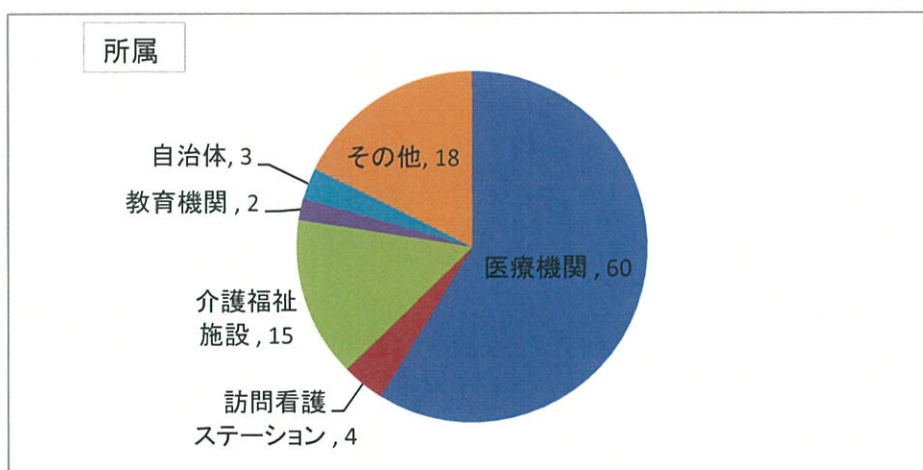
参加者：113名 アンケート回答者：102名 回答率：90.3%

1. 職種について



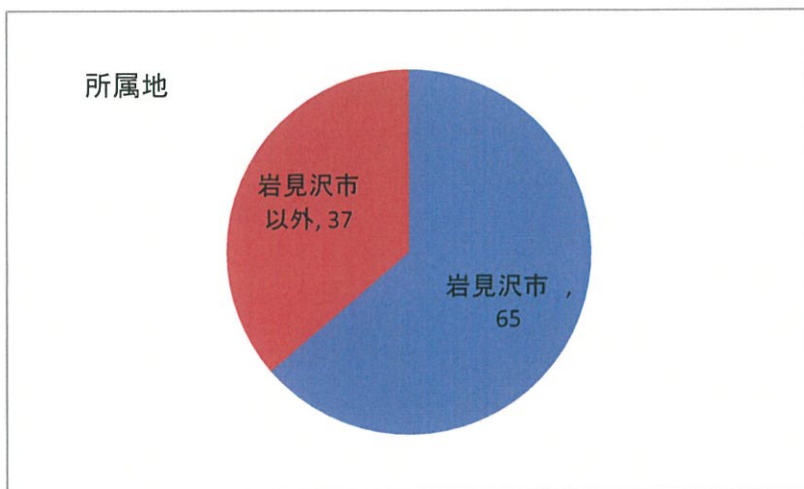
医師	看護師	薬剤師	臨床検査技師	放射線技師	作業・理学療法士	栄養士
3	50	4	0	0	6	1
介護福祉士	看護助手	ヘルパー	介護支援専門医	事務職員	その他	
6	0	0	14	4	14	

2. 所属について



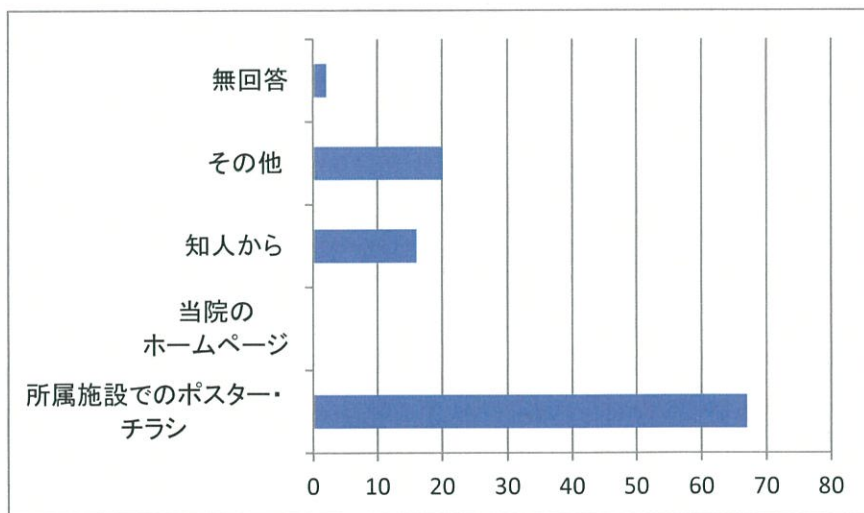
医療機関	訪問看護ステーション	介護福祉施設	教育機関	自治体	その他
60	4	15	2	3	18

3. 所属地域



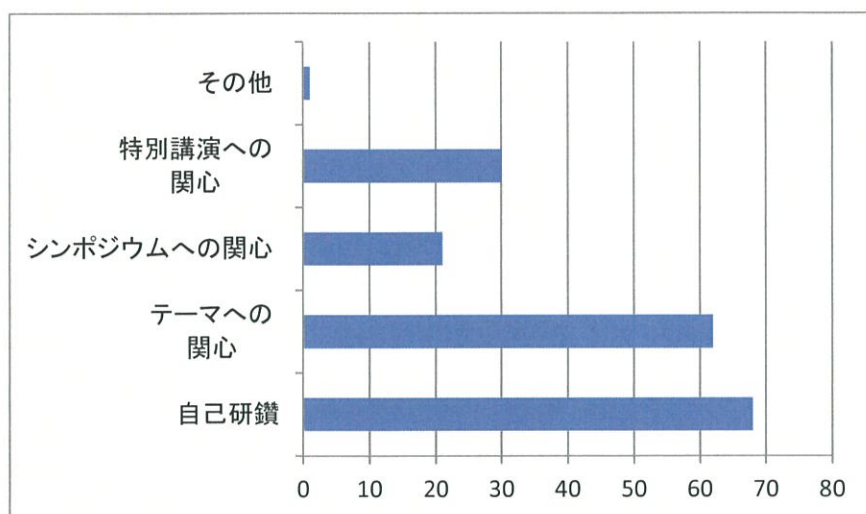
岩見沢市	岩見沢市以外
65	37

4. 本講座を知ったきっかけ



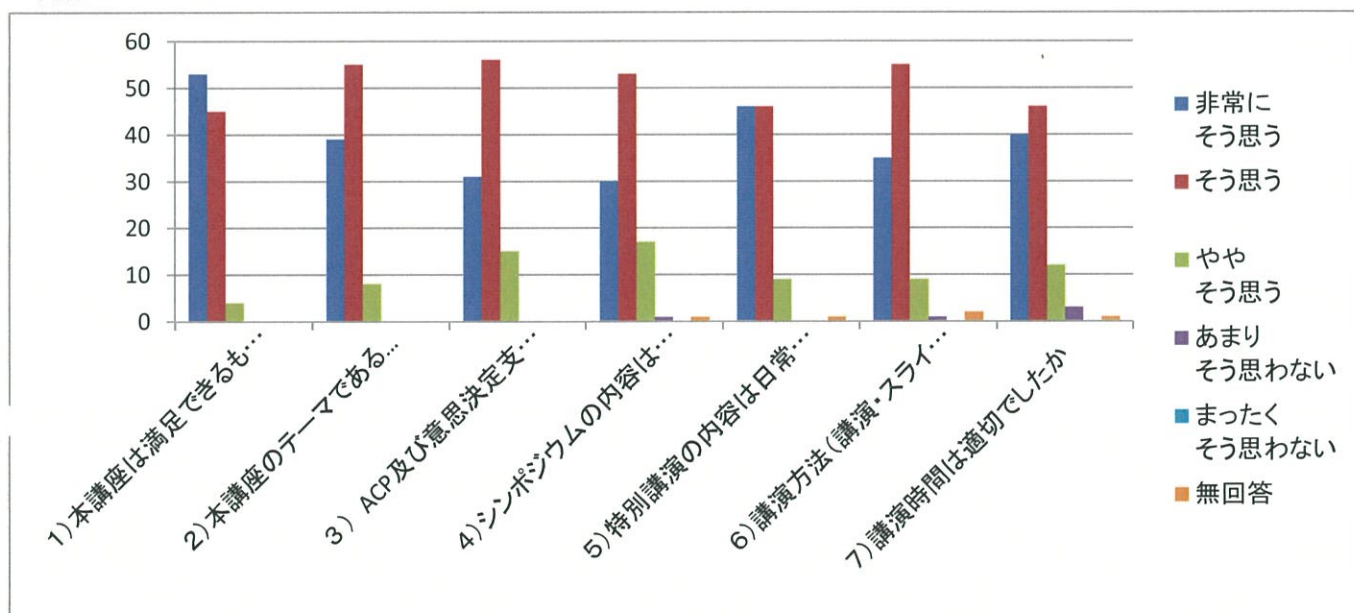
所属施設でのポスター・チラシ	当院のホームページ	知人から	その他	無回答
67	0	16	20	2

5. 本講座の参加動機



自己研鑽	テーマへの関心	シンポジウムへの関心	特別講演への関心	その他
68	62	21	30	1

6. 本講座について



	非常に そう思う	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	無回答
1) 本講座は満足できるものでしたか	53	45	4	0	0	0
2) 本講座のテーマであるACPと意思決定支援は理解できましたか	39	55	8	0	0	0
3) ACP及び意思決定支援の方法や時期について理解できましたか	31	56	15	0	0	0
4) シンポジウムの内容は日常業務に役立ちますか	30	53	17	1	0	1
5) 特別講演の内容は日常業務に役立ちますか	46	46	9	0	0	1
6) 講演方法(講演・スライド・資料)は適切でしたか	35	55	9	1	0	2
7) 講演時間は適切でしたか	40	46	12	3	0	1

7. 本講座に対する良かった点、改善点、ご感想について

1) 良かった点

- 色々な立場からの話しが聞けたので良かったと思う。
- ACPについて理解できました。(2名)
- アドバンスケアプランニングが初めて聞く言葉であったが、木澤先生の話しわかりやすかったです。
- 木澤先生のご講演大変良かったです。また、4名のシンポジストの先生方の話しは大変参考になりました。
ありがとうございました。
- 木澤先生と工藤先生の話しが良かったです。
- 1回の講座でそれぞれの立場の方のお話が聞けて良かったです。
- ACP、意思決定支援について様々な職種の先生からお話が聞けたこと。
- ACPの具体的流れについて理解が深められた。
- とても密度の濃い内容で満足しました。
- 現在抱えていることに対してタイムリーな話題であった。
- 施設だけでなく、家庭・地域などとの連携が必要。
- 家族との関わりの仕方が大切だと感じた。
- 木澤先生のお話しわかりやすかったです。
- シンポジストの先生方のお話もそれぞれの立場からの取り組みがよくわかりました。
- 時間配分がとても聞きやすかったです
- 聞いたかった内容(シンポジウムの質問)がたくさんありました。
- それぞれの現場における生の声がきけて、大変勉強になりました。
- ACPについて知らなかったので理解できた。
- ACP及び接し方について学ぶことができ、今後使用していきたいと思う。
- 臨床から離れて(在宅医療)いるので勉強になりました。
- 実際のACPについての理解が深まりました。
- ACPについて実際どうしたらいいかと考えているところでしたので非常に良かったです。
ありがとうございました。
- ACPについてわかることができました。
- 特別講演は良かったです。
- 事例が多くわかりやすかった。
- ACPとは何かということがわかって勉強になった。
- 多くの方々の関心をひくテーマ、内容で素晴らしかったと思います。
- 竹田先生、田代先生のお話が分かりやすくて、とても良かったです。
- 実務での例が聞けて良かった。
- ACPについては、初めて聞くので勉強になった。
- 考え方や整理できてスッキリしました。ありがとうございました。
- 知って良かった内容でした。わかりやすかった。
- ACPについて理解することができた。
- 各職種の立場から色々な事例を聞くことができました。
- 日曜日であることも参加しやすく良かった。
- 進行のテンポが良かった。
- 多職種のシンポジウムが良かった。
- 特に木澤先生の話しが興味深く、面白かったです。
- 勉強になりました。ありがとうございます。
- ACPに関する理解が出来た。ケアマネの職務内容が理解できた。
- 意思決定支援の重要性・在宅における福祉用具の重要性を学ぶことができた。
- とても具体的にわかりやすい内容で良かった。
- 各医療の現場状況やACPの内容を理解できて良かったです。
- アドバンスディレクティブの問題点、課題がよくわかった。
- ACP=話し合いプロセスそのものが重要。
- 医療の視点と家族・本人・福祉関係者の視点、介護の視点それぞれの考え方を感じ取ることができたと思います。
- ACPの必要性和難しさを学ぶことができました。
- 詳細なお話、説明が良かった。
- 説明とスライドが合っていてわかりやすかった。
- 様々な医療現場のシンポジストの講演を聞けたのと、木澤先生の講演を聞けたこと。

2) 改善点

- スライドの文字が小さかったり、薄かったり、見づらい所があったので、今度は見やすくしてもらいたいです。
- 開催日はできれば土曜日がいいです。
- うまくい合ないことが多い。その解決法をそれぞれの視点で聞けたら。
- 特別講演をもう少し聞きたかった。
- もっと話が聞きたかった。時間がなくて残念。
- 仕事や資格の説明必要なかった。
- 可能でしたら、全席テーブルを希望します。
- 医療関係の話してわかりにくい部分が多々あった。
- 会場のスペースも限りがあるが、後方席の人が椅子のみテーブルなしで大変である。
- 事前に質問を集めておいた方が良いと思われます。
- 介護関係や福祉関係の方にも役立つ内容でしたが、この研修がある事を知らない関係者も多かったと思うので、会場の都合もあろうかと思いますが、もっとPRしても良いと感じました。
- 横のつながり、医療との情報共有が出来ていなかったの、今後積極的に行っていければと思います。
- スライドの字が小さいものがあり、見えない物もあった。
- 休憩時間をもう少し欲しいです。
- 予定時間通りに終わってほしい。

3) 感想

- エンドオブライフを含め、今後の医療、患者・家族への支援方法を具体的に学ぶことができて良かったです。先生方ありがとうございました。
- 日々直面している問題なので、参考になりました。
- 奥が深かった。
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。(4名)
- 木澤先生の講演とても感動しました。
- ACPの研修に参加する機会がなかったのでうれしかったです。
- シンポジウム、総論・成功案件、抽象的表現が多く、イメージをクリアにできなかった
- 特別講演、統計データ参考になりました。
- シンポジウムでは、正直いまいち理解しきれていなかったのですが、木澤先生のお話がとても分かりやすくストンと入ってきました。
- ACPについて詳しく教えて頂いたので、とても良かったです。
- とてもいい講演でした。ありがとうございました。
- うまく対応できた事例、できなかった事例、それぞれに聞かせてほしかった。
- 内容が盛り込み過ぎで、ACPの木澤先生にもう少しポイントをおいて学習したいです。
- 時間も丁度良い。
- ACPを行う上で難しい点で(他職種・多職種)で患者様や利用者様のことを考え、お手伝いできればと思う。ありがとうございました。
- 遠くの家族の話しが、そういうことがあるのだと勉強になりました。病院も苦労されていると思いました。
- ACPは固定的なものではなく、柔軟な視点と聞く側のトレーニングが重要と認識できた。
- 医療との連携が非常に重要であると改めて知れた。
- 今回参加できて良かったです。就職したらまた参加してみたいです。ありがとうございました。
- 木澤先生の話しが更にわかりやすくなり、具体例が良かった。
- ご案内いただきとても良かったです。ありがとうございます。
- とても参考になりました。
- 岩見沢にて、この内容・レベルの講演会をしていただいた事に感動しました。ありがとうございます。
- 母の看取りを振り返り、反省もありました。もっとACPが広まる事を願います。
- もっとやれたこと、父の気持ちを考えなかったこと、反省すべき点が多いと感じました。
- 先日、父をがんで亡くしましたが、この講演会を父が死ぬ前に聞きたかったです。

8. 今後の講演、研修等の企画に対する要望・希望について

- 木澤先生の話しをまた聞きたい。GW方式での講演並び勉強会をしてほしい。
- 往診医の話し
- 終末期医療
- 木澤先生の特別講演が時間が押したので、じっくり聞くことができなかつたので残念でしたが、内容は大変勉強になりました。
- 個人的だが、終末期も大事だが、その前の維持期やがんと告知された時の接し方があるとより理解できたかも。
- 会場が寒かつた。
- こういう研修を繰り返し行ってもらいたい。
- 医療従事者、介護従事者などが顔が向き合える研修もあつたらよいと思います。
- 医療従事者以外の方々でも、気軽に参加できるようなものなら良いと思います。
- 興味ある内容は、また参加したい。
- 参加者同士の交流ができるグループワークなどもあればいいと思いました。
- このような研修を企画していただき、ありがとうございました。
- 医療的内容は言葉も専門的で理解しがたい印象だったが、多職種が関わっていることが理解でき、自分の立場に置き換えることができた。
- 木澤先生のお話は大変分かりやすく参考になりました。
実践をもっとお話していただきたかつた（日常業務に取り入れるには難しいです）ことを考えると、もっと長い講演でも良かったと思いました。ありがとうございました。
- ACPIに関する今後の実例など継続的な研修を希望。
- また、このような研修会を希望します。ありがとうございます。規格車の皆様お疲れ様でした。
- 医療－保健－福祉－介護それぞれの立場で同じことを見ていてお解釈が違ふことも多々あります。それぞれの立場でどう考えているのか、何故そう感じるのかという研修も良いと思います。
- 施設扱いのグループホームで高齢化が進み、介護の仕方・痰の吸引について学びたいなどの意見がありました。
- のみこみやすい食事の内容、フットケアについて知識を深めたいと思っています。
- 研修を行う情報を頂けるとうれしい。
- 口腔ケア
- 緩和在宅は、短期決戦となります。㊦ 持続中についても町の薬局薬剤師は連携をしています。病院内外のお職種とのカンファレンスシステムを深める研修。
- 認知症ケアについて
- 口腔ケア
- 緩和在宅は、短期決戦となります。㊦ 持続中についても町の薬局薬剤師は連携をしています。病院内外のお職種とのカンファレンスシステムを深める研修。
- 認知症ケアについて